

本県および他県の現況

〈目次〉

- 1 令和2年度県立高校地区別・学校別学科構成…… P. 1
- 2 他県の学級定員…… P. 2
- 3 普通科系10校の特色ある取組み…… P. 3

令和2年度第1学年 県立高校地区別・学校別学科構成 (入学定員より)

普通科系学科	学校名	学級	平均定員	職業系学科											
空白：普通科 国：国際科 探：探究科（鯖江） 探究進学科（武生） 文理進学科（敦賀） 文理探究科（若狭）	福井・坂井地区														
	国 国		足羽	5	33										
			羽水	8	37.8										
	○ ○		金津	7	36.8										
	○ ○ ○		高志	7	40										
			藤島	9	39										
			丸岡	4	30										
			三国	4	35										
			坂井	8	33	農	農	工	工	工	工	商	家		
			福井農林	4	35	農	農	農	農						
			科学技術	5	36	工	工	工	工	工					
			福井商業	8	39	商	商	商	商	商	商	商	商		
奥越地区															
			大野	4	31										
			勝山	4	30										
			奥越明成	5	28	工	工	商	家	福					
丹南地区															
探			鯖江	7	38										
探	探		武生	8	38										
	国	国	武生東	5	33										
	○		丹生	4	30										
			武生商工	8	34	工	工	工	工	商	商	商	商		
嶺南地区															
探	探		敦賀	8	30	商	商								
		○	美方	5	31.6	家	家								
探	探		若狭	8	31	水	水								
			若狭東	6	28	農	農	工	工	商	商				
			敦賀工業	4	30	工	工	工	工						

○は中高一貫クラス

※平均定員は、入学定員を学級数で割った数（中高一貫クラスは除く）

他県の学級定員

区分	専門科および専門教育を主とする学科（普通系）								専門教部を主とする学科（職業系）								総合学科	全体平均	
	普通科	専門学科を主とする学科（普通系）						普通科等平均	農業	水産	工業	商業	家庭	看護	福祉	情報			その他
		理数関係	語学関係	国際関係	体育関係	芸術関係	その他												
北海道	40	40	40		40			40.00	40	40	40	40	40	40	40			40	40.00
青森	35,40	40	40		40		30	39.23	35,40	35	35	35,40	40	40				40	38.34
岩手	40				40		40	40.00	40	40	40	40	40					40	40.00
宮城	40	40	40		40	40	40	40.00	40	40	40	40	40	40	40			40	40.00
秋田	40,35	35		35				37.72	35	35	35	35	40		35	35		40,35	36.90
山形	40	40		40	40	40		40.00	40	40	40	40	40	40		40		40	40.00
福島	35,40	40	40	40	40	40	40	39.89	40	40	40	40	40					40	39.94
茨城	40	40		40		40		39.85	40	40	40	40	40	40	40			40	39.90
栃木	40				40			40.00	40	25	40	40	40		30			40	39.85
群馬	30,32,40	40		40	40	40	40	39.31	40		40	40			40			40	39.58
埼玉	40	40	40	40	40	40	40	39.73	40		40	40	40	40	40			40	39.74
千葉	40	40		40	40	40		39.49	40	40	40	40	40	40	40	40		40	40.00
東京	40			40	40	40		39.49	35		35	35	35		35	35	35	40	38.69
神奈川	40			40	40	40		39.63	40	40	40	40	40	40	40		40	40	39.60
新潟	40	40	40	40		40	40	40.00	40	40	30,40	40	40					40	39.97
富山	31,40			30,40			40	39.73	20,30	20,40	30,40	40	40	40	30			40	39.20
石川	40	40			40		40	40.00	40		40	40		40	40		40	40	40.00
山梨	30~40	40	30				25,30,35	36.54	30		25~40	25~30						26~38	35.07
長野	40	40		40	40	40		40.00	40		40	40	40					40	40.00
岐阜	30,35,40	30,40				40		39.60	40		40	35,40	30,35,40		30,40	40		30,35,40	39.45
静岡	40,35	40	40	40	40	40		39.94	40	40	40	40	40		40			40	39.96
愛知	40			40	40	40		40.00	40	40	40	40	40	40	40			40	40.00
三重	40	40	40	40	40		40	40.00	40	40	40	40	40	40	40	40		40	40.00
滋賀	40	40			40	40		40.00	40		40	40	40					40	40.00
京都	30~40	40		30	40		40	39.33	30~40	30~40	30~40	26~40				40		28,36	38.45
大阪	40	40		40	40	40	40	40.01	40		40							40	40.02
兵庫	40	40		40	40	40	40	40.00	40	40	40	40	40	40	40			40	40.00
奈良	30,35,40	40		40	40	35		39.81	37		37	40	40		40			40	39.49
和歌山	40	40		40	40		40	40.00	40		40	40		40				40	40.00
鳥取	38,40	40						39.89	38,80/3	38	38	38	38	38		38	38	38	38.70
島根	40,30	40			40			39.10	40,30	40	40	40,30						40	39.30
岡山	35,40	40		40	40		40	39.73	30,35,40		35,40	35,40	40	40	40	40	40	35,40	39.66
広島	40			40	40			40.00	40		40	40	40	40	40			40	40.00
山口	25,30,33,34,35 36,37,38,40	40	40				20,40	36.04	25,30,40	25	25,30,35,40	30,35,40	30,35	40			35	31,32,35 37,38,40	35.95
徳島	25~40	30,35,40			30	10,15,20		36.15	20,25	10,20	25~35	20~40	20,35		35			27~36	32.72
香川	30,35,36 37,38,40	35,36	38			25	35	37.50	30,35	30	30,32,33 35,37,38	30,35,38	30	35	30	30,33		32,33,35	35.84
愛媛	30,40	20,40		20				38.91	30,40	35	40	40	40					40	39.13
高知	40	40	40	40		30		39.73	40	40	40	40		30				40	39.76
福岡	40	40	40			40	40	40.00	40	40	40	40	40		40	40		40	40.00
佐賀	40	40				40		40.00	40		40	40	40					40	40.00
長崎	40	40	40	40		20		39.48	40	40	40	40	40	40	26	40		40	39.64
熊本	40	40	40			40		40.00	40	40	40	40	40		40			40	40.00
大分	40,35	40	40			40		39.76	40,35	40	40,35	40,35	40,35		40			40,35	39.56
宮崎	40	40					40	40.00	40	40	40	40	40		40			40	40.00
鹿児島	30,40	40			40	40	40	39.53	40	40	40	40	40	40	40		40	40	39.72
沖縄	40	40	40	40	40	40	40	40.00	40	40	40	40	40	40	40	40		40	40.00



普通科系10校の特色ある取組み

羽水高等学校	普通科	303人(8クラス)
<p>※学科、R2募集定員(クラス)(以下同じ)</p>		
<p>○特色ある取組み</p>		
<p>羽水高校では、これからの社会を生き抜くための資質・能力「USUI7」を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「USUI7」とは、1. 傾聴力 2. 省察力 3. 協働力 4. 課題発見力 5. 課題解決力 6. 自己肯定力 7. 市民性 ・生徒たちが様々な情報を集め、仲間たちとともに考え、議論し、表現するべきことをまとめる「プロジェクト学習」を実施 ・1年生：「市役所に提案」プロジェクトを福井市や産業界、NPO団体等と連携して実施し、防災や観光、農業などをテーマに課題解決型学習を推進 ・2年生：探究学習の成果について探究論文の作成 ・香港の元朗信義中學と姉妹校協定を結び、遠隔授業システムにより生徒が対話することを通して国際協働学習を実施 ・福井県・ドイツ高校生共同学習・交流事業（県の事業）において、隔年で相互訪問を実施し、ホームステイ等を経験し、国際的視野を持った人材を育成 		
<p>○学校行事（学校祭、修学旅行、遠足、球技大会等各校共通するものは省略）</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒が毎年春に約30kmの距離を歩き抜く強歩大会を実施 		
<p>○進路状況（平成31年3月卒業生）※大学については合格実績</p>		
<p>東北大・法1人、東京芸大・声楽1人、富山大・薬1人、神戸大・理1人、福井大13人、福井県立大21人など国公立大学78人。法政大1人、東京理科大2人、同志社大3人、立命館大7人、関西大5人、関西学院大1人など私立大学371人。短期大学および専修学校など49人。 過去（3年）には、金沢大、信州大、滋賀医科大、京都教育大、奈良教育大、首都大学東京、大阪府立大など</p>		
<p>○部活動（運動部19、文化部13）</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・運動部では、なぎなた部、ボクシング部などが、毎年、全国高校総体や北信越高校総体に出場し上位入賞を果たしている。 ・文化部では、放送部、邦楽部、吹奏楽部、合唱部、演劇部などが、毎年、全国高等学校総合文化祭、近畿高等学校総合文化祭に出場し、さらに県内外のコンクール等でも上位入賞している。 		
<p>プロジェクト学習の成果発表</p>	<p>ハーモニーホールふくい 演奏する吹奏楽部</p>	

※文章中の下線は写真を掲載（以下同じ）



足羽高等学校	普通科	105人(3クラス)	国際科	60人(2クラス)
--------	-----	------------	-----	-----------

○特色ある取組み

<普通科、国際科>

- ・学校設定科目「足羽タイム」を設け、1年次では希望者に対し学び直し学習、3年次では個々の進路希望に合わせた進路別学習の実施（2年次は学校設定科目なし）
- ・「台湾教育旅行誘致促進事業（国の事業）」の一環として、教育旅行で来県の台湾高校生を受入れ、授業や部活などを通じて交流

<国際科>

- ・オーストラリアのマリスト高校と姉妹校協定を結び（平成8年）、これまで6回の訪問、7回の受入れを実施
- ・アメリカのボッセル高校と姉妹校協定を結び（平成29年）、相互訪問、授業参加やホームステイ、文化施設訪問などを通じて国際理解や国際交流を推進
- ・2年次に、国際科の生徒全員が海外の姉妹校などで約2週間の語学研修を実施
- ・北京外国語大、東京外国語大、福井県立大との交流会を通じて異文化理解を推進
- ・海外派遣事業「高校生中国語学研修（県の事業）」への積極的参加や訪日高校生の受入れ

○学校行事（学校祭、修学旅行、遠足、球技大会等各校共通するものは省略）

- ・海外の姉妹校との相互訪問を毎年実施し、ホームステイや実践的な語学学習を通して、国際人としての能力を育成

○進路状況（平成31年3月卒業生）※大学については合格実績

筑波大など国公立大学3人。関西大など私立大学47人。短期大学および専修学校など57人、就職46人。

過去（3年）には、京都教育大、敦賀市立看護大、立命館大、関西学院大など

○部活動（運動部14、文化部12、同好会1）

- ・運動部では、女子バスケットボール部、陸上部、ライフル射撃部、バドミントン部、レスリング部、文化部では中国語部が全国大会等において入賞
- ・文化部では、平成27年度から令和元年度まで、国内予選を勝ち抜いた中国語部の3人が北京等で開催の「漢語橋」世界中高生中国語コンテストに5年連続、10回出場



姉妹校マリスト高校生との交流



女子バスケットボール部
足羽だけが
狙える世界



「漢語橋」世界中高生中国語コンテスト出場



三国高等学校	普通科	140人(4クラス)
---------------	-----	------------

○特色ある取組み

- ・ 東京大学やUDCS（アーバンデザインセンター坂井）、アズAS☆（あわら坂井創造推進協議会）と連携し、三国町を中心とした坂井市が抱える諸課題に取り組むプロジェクト学習を実施
 （プロジェクト学習の例）
 三国の来訪者へのインタビューや空き家の現状、リノベーションの取組みなどに関するフィールドワークを実施。三国にふさわしいまちづくりについて考察し空き家の効果的な利用について企画・立案・発表・実行
- ・ 坂井市役所および坂井市議会と連携して開催した「坂井市高校生議会」において、市政に対する意見を提言
- ・ 第12回全国高校生食育王選手権大会に参加
- ・ 吹奏楽部、美術部、書道部、琴部、写真部、茶道部による地域イベントへの参加を通して地域交流を充実

○学校行事（学校祭、修学旅行、遠足、球技大会等各校共通するものは省略）

- ・ 北陸三大祭「三国祭」では山車曳き、おもてなしイベント、記念写真撮影、祭後の三国神社清掃等を地域住民と協働で行い伝統文化の伝承に貢献
- ・ 三國湊帯のまち流し、文学碑式典(葱忌、荒磯忌)などの文化的行事へ参加

○進路状況（平成31年3月卒業生）※大学については合格実績

金沢大1人、富山大1人、福井大4人、福井県立大5人など国公立大学12人、立命館大3人、関西大1人など私立大学75人、短期大学および専修学校等63人、就職26人。
 過去（3年）には、京都大、福井大・医、滋賀大、明治大、東京理科大など

○部活動（運動部12、文化部8）

- ・ 運動部では、平成30年度に女子ソフトボール部が全国選手権大会ベスト8。ヨット部が男女北信越大会出場、女子420級優勝、女子インターハイ出場、女子国民体育大会出場。柔道部が北信越大会出場・新人大会団体戦3位。男子ソフトテニス部が北信越大会出場
- ・ 文化部では、吹奏楽部が中部日本吹奏楽コンクール県大会金賞、全日本吹奏楽コンクール県大会金賞を受賞し県代表に選出、美術部、写真部が全国高校総合文化祭に出場。写真部、書道部近畿高校総合文化祭に出場



東大生との交流授業



三国の町中で演奏する吹奏楽部



国体での活躍が期待されるソフトボール部



丸岡高等学校	普通科	120人(4クラス)
---------------	-----	------------

○特色ある取組み

- ・令和元年度から文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」の指定を受け、坂井市等と連携した探究的な学びを実施
- ・令和元年度から福井県金融広報委員会（事務局 日本銀行福井事務所）の金融教育研究校に2年間指定
- ・坂井市役所および坂井市議会と連携して開催した「坂井市高校生議会」において、市政に対する意見を提言
- ・英語での観光ボランティアとして、丸岡城に観光で訪れる外国人に浴衣の着つけや外国語でのガイドにより住んでいる地域の魅力を紹介
- ・台湾の高雄市立福誠高級中学と連携し、国際プレゼンテーションコンテストに参加
- ・地元丸岡のロータリークラブと協働し発展途上国の現地調査を行う「タイスタディーツアー」を実施
- ・ウィキペディアで地元の観光地や食材等を、英語、中国語、ポルトガル語等で紹介
- ・郷土史やまちづくりなどをテーマとする市民公開講座「丸高カレッジ」を実施
- ・地元の小中高校生が丸岡の先人や歴史を学ぶふるさと教育や地域活性化をテーマとした課題解決型学習を行い発表する「丸岡城サミット」を実施
- ・全国のお城ファンに向けた地元企業・行政・地域との連携による商品開発や丸岡の歴史を紹介する「高校生忍者隊」による寸劇

○学校行事（学校祭、修学旅行、遠足、球技大会等各校共通するものは省略）

- ・全校生徒による地域の文化財や施設の清掃活動、吹奏楽部による地元中学生とのフレンドリーコンサート
- ・県内の留学生との異文化交流事業

○進路状況（平成31年3月卒業生）※大学については合格実績

富山大学1人、福井県立大学4人など国公立大学10人。同志社大2人など私立大学70人。短期大学および専修学校など38人、就職19人。

過去（3年）には、金沢大、福井大、京都教育大、早稲田大、東京理科大、立命館大など

○部活動（運動部11、文化部7）

- ・福井しあわせ元気国体では新体操、剣道が3位入賞。サッカー一部は全国選手権大会（2年連続出場）やインターハイにおいてベスト16
- ・文化部では、放送部がNHK全国放送コンテスト全国大会出場。地域協働部が「そば打ち甲子園」で3年連続敢闘賞を受賞。科学情報部が日本学生科学賞、中央審査科学技術振興機構賞を受賞



ウィキペディア編集作業
（地域協働部）



市民公開講座「丸高カレッジ」



全国での活躍が期待される
サッカー一部



大野高等学校	普通科	124人(4クラス)
---------------	-----	------------

○特色ある取組み

- ・ 1年生全員が大野市と連携した探究活動「わたしが未来の市長プロジェクト」に取り組む。総合的な探究の時間やフィールドワークで地域の課題を調査・検討し、代表者が大野市に提言
- ・ 令和元年度、同プロジェクト（大野市）で審査員特別賞を受賞した本校生徒の空き家対策案が関西大学大学院生によって具体化され、市街のビル2階の空き部屋を図書室に改装
- ・ 2年生はSDGs（持続可能な開発目標）をテーマに探究活動を行い、代表者が大野市議会で提言
- ・ 高校生模擬裁判選手権県大会で2年連続優勝。同中部北陸大会で平成30年度優勝、令和元年度準優勝
- ・ 令和元年度には、同選手権の出場生徒が福井弁護士会主催のジャーナリスト江川紹子氏の講演会でトークセッションに出演

○学校行事（学校祭、修学旅行、遠足、球技大会等各校共通するものは省略）

- ・ 地域の特性を生かし、スキーやスノーボードを行う「スノースポーツデー」を市内のスキー場で実施（1、2年生全員が参加）。
- ・ 20年続く大野高の名物行事「大高サイエンスキャンパス」で、理科教員全員がチームを組んで、専門分野を融合したプログラムを実施。1、2年生の希望者が参加。

○進路状況（平成31年3月卒業生）※大学については合格実績

東京大1人、大阪大3人、名古屋大2人、金沢大5人、福井大12人、福井県立大11人など国公立大学55人。法政大1人、同志社大6人、立命館大4人など私立大学54人。短期大学および専修学校など24人、就職5人。

過去（3年）には、京都大、神戸大、信州大、早稲田大、明治大、東京理科大、関西大、関西学院大など

○部活動（運動部12、文化部9）

- ・ 運動部では、スキー部、卓球部、陸上部が全国大会に出場。男子バレーボール部、弓道部なども県内大会で上位入賞
- ・ 文化部では、吹奏楽部、書道部、将棋サークルが県内大会で上位入賞



「わたしが未来の市長プロジェクト」



高校生模擬裁判選手権



勝山高等学校	普通科	120人(4クラス)
---------------	-----	------------

○特色ある取り組み

- ・ 文部科学省「英語教育強化地域拠点事業」の指定を受け、小中高授業連携や大学入試改革を見据えた授業改善などを実施（平成26年～平成29年、全国18校）
- ・ 勝山市と連携し、勝山市の課題について探究学習（勝山人）。全校生徒で「かっちやま創生プラン」の提案（平成30年～令和2年）
 - ・ 1年生「勝山市探究」グループごとのテーマ設定、フィールドワーク等を実施
 - ・ 2年生「他地域研究」他地域と比較した勝山市の現状と課題について研究
 - ・ 3年生「成果発表会」3年生全員が探究学習の成果について発表
「市長と語る会」3年生の代表5グループが参加
- ・ 「生徒国際イノベーションフォーラム2020」で成果発表（令和2年8月10日京都）
- ・ 高大連携
 - ・ 「未来ワークショップ」千葉大、勝山市等と連携し、課題研究と政策提言
 - ・ 「ふるさと勝山回帰ショートムービー」日大芸術学部、FBCアドサービスと連携し、ムービー制作やPR活動に参加

○校内での取組み

- 地域密着型教育の実践(市、市教委、同窓会、PTA、商工会議所との連携)
- ・ 探究活動アドバイザーとして同窓会講師によるキャリア教育に関する講演
 - ・ 地元企業中心の企業見学会、産業フェアへ参加
 - ・ 地域の特性を生かした冬期スキー授業や研修などの取組み

○進路状況（平成31年3月卒業生）※大学については合格実績

京都大1人、金沢大2人、福井大14人、福井県立大9人など国公立大学30人。立命館大4人、関西大2人、関西学院大4人など私立大学56人。短期大学および専修学校など41人、就職5人。

過去（3年）には、名古屋大、神戸大、筑波大、東京学芸大、名古屋工業大など

○部活動（運動部12、文化部5）

- ・ 運動部では、男女バドミントン部が春季総体で団体・個人優勝し、全国大会出場（山口茜選手のプレー見学、合同練習あり）。クロスカントリー一部が全国大会出場陸上部、弓道部が北信越大会出場
- ・ 文化部では、日本文化部、吹奏楽部、芸術部、将棋部が各種コンクールで上位入賞。特に日本文化部は勝山左義長ばやしの「浮き太鼓」を取り入れた創作曲で第9回全国高校生太鼓甲子園最優秀賞（平成30年度）





鯖江高等学校	探究科	38人(1クラス)	普通科	228人(6クラス)
--------	-----	-----------	-----	------------

○特色ある取組み

- ・令和元年度から文部科学省による「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」の指定を受け、鯖江商工会議所および鯖江市と相互連携協定を締結。鯖江市等と協働し全校生徒が主体的・探究的な学習を実施。
 （鯖江市との協働活動の例）
鯖江市の観光地や市の基幹産業である眼鏡枠、漆器を紹介したデジタルパンフレットを作成し、今年度も英語によるページを増やすなどバージョンアップを予定。
- ・令和2年度に新たに探究科を、普通科にスポーツ・健康福祉コースおよびIT・デザインコースを設置。これにより全定2課程、探究と普通の2学科、普通科内の3コース4専攻の様々な目標、様々な考え方、様々な特技をもつ生徒同士が切磋琢磨して学びあう学校へ生まれ変わる。
- ・平成29年度全国図書館棚作りコンテストにおいて最優秀賞を受賞

○学校行事（学校祭、修学旅行、遠足、球技大会等各校共通するものは省略）

- ・大学訪問、進路説明会、小論文セミナーなどに応じた進路実現のための企画を実施
- ・校舎内外に多くの芸術作品を設置するとともに、生徒ホール「ギャラリー王山」で常時作品を展示

○進路状況（平成31年3月卒業生）※大学については合格実績

名古屋大1人、筑波大1人、福井大2人、福井県立大6人など国公立大学20人。早稲田大1人、立命館大1人、関西大2人など私立大学74人。短期大学および専修学校など70人、就職14人。
 過去（3年）には、金沢大、新潟大、群馬大、鹿屋体育大など

○部活動（運動部16、文化部8、同好会1）

- ・令和元年度インターハイへは体操部、陸上部、なぎなた部が出場。体操部は女子団体3位、男子団体5位入賞。個人総合でも上位入賞。国際大会への出場者も輩出
- ・陸上部女子駅伝チームは全国高校駅伝に出場決定
- ・男子バレーボール部、男子弓道部、柔道部が北信越大会出場
- ・文化部では、吹奏楽部、美術部、書道部がコンクール等で上位入賞



デジタルパンフレット発表



全国の舞台で活躍する体操部

デジタルパンフレットはこちらです。ぜひご覧ください。http://www.sabae-h.ed.jp/digital_panflet/
 もしくは、右上のQRコードから鯖江高校HPにアクセスし、デジタルパンフレットのバナーをクリックしてください。



丹生高等学校	普通科	107人(4クラス)
---------------	-----	------------

○特色ある取組み

＜中高一貫教育＞

- ・平成17年度から中高一貫教育を実施
- ・中高連携クラスの高校1年生が「小さな親切」運動越前町支部と連携した特別授業や課題解決の提案を発表。2年生は朝日地域コミュニティ運営委員会と、地元の良さや課題について意見交換会を実施
- ・高校の探究学習「NYU研究」では、1年生でテーマ別に研究する「Ⅰ」、2年生で各分野で活躍する地元出身者らと関わる体験講座の「Ⅱ」を実施
- ・中高連携クラスの中学3年生が参加するサマースクールでは、中3生が「NYU研究Ⅰミニ」として数学、英語、理科の教科研究のほか、郷土芸能、郷土史などをテーマに調査
- ・中高連携クラス以外の生徒に対しては、越前町地域創生室との連携や、校外（県外・海外も可）でのフィールドワークに対し旅費の一部を支援するPTA会費による基金を設立するなど、地域との連携を重視しながらも広い視野を身につけられるような探究学習のしくみを用意（現在、さらに改善を目指して指導計画の策定中）
- ・近隣の中学校などで写真部作品の展示

○学校行事（学校祭、修学旅行、遠足、球技大会等各校共通するものは省略）

- ・中高一貫連携クラスでは、地域・郷土の研究の他、令和2年度から、2年生がシンガポール研修予定

○進路状況（平成31年3月卒業生）※大学については合格実績

金沢大1人、横浜国立大1人、福井大2人、福井県立大7人など国公立大学13人。明治大1人、東京理科大1人、立命館大1人、関西大1人、関西学院大1人など私立大学38人。短期大学および専修学校など42人、就職33人。
過去（3年）には、千葉大、富山大、信州大、敦賀市立看護大など

○部活動（運動部13、文化部9）

- ・ホッケー部が福井国体で男子3位、女子優勝。第82回全国高校総体で男子優勝（令和元年度）
- ・弓道部男子も高校総体出場
- ・野球部が第101回全国高等学校野球選手権大会福井大会で準優勝（令和元年度）
- ・写真部は地域をテーマには全国大会や日中韓の国際大会でも入賞



探究学習の研修のため
兵庫県村岡高校に



ホッケー部 全国総体
日本一



野球部 夏の県予選
初の準優勝



敦賀高等学校	文理進学科	60人(2クラス)	商業科	30人(1クラス)
	普通科	120人(4クラス)	情報経理科	30人(1クラス)

○特色ある取組み

- ・「総合的な学習の時間」で1年生は「環境・エネルギー」、2年生は「地方創生」をテーマに設定し、課題解決型学習を実施
- ・2年生が敦賀市役所の「政策プロジェクト」チームと連携し、子育て支援や移住・定住促進策などに関する意見交換会を実施
- ・福井県・ドイツ高校生共同学習・交流事業（県の事業）において、隔年で相互訪問を実施し、ホームステイ等を経験し、国際的視野を持った人材を育成
- ・ダイヤモンドプリンセス号敦賀寄港を商業科、吹奏楽部、書道部が歓迎
- ・令和2年度に新たに文理進学科（理数進学科、人文進学科）を設置

○学校行事（学校祭、修学旅行、遠足、球技大会等各校共通するものは省略）

- ・「松原清掃」1、2年生全員が気比の松原にて、松の生育に影響する外来植物のメルケンカルカヤの除去作業などを実施
- ・「課題研究発表会」1年生、2年生が学年ごとのテーマについて、探究成果を発表
- ・社会で活躍する卒業生と語り合う「Sトーク」、大学見学会、進学・就職ガイダンスなど、キャリア教育に関する行事を積極的に推進

○進路状況（平成31年3月卒業生）※大学については合格実績

大阪大2人、名古屋大2人、神戸大3人、筑波大2人、金沢大5人、福井大7人、福井県立大13人など国公立大学85人。早稲田大2人、明治大3人、同志社大9人、立など私立大学185人。短期大学および専修学校など62人、就職44人。
過去（3年）には東京大、京都大、慶應義塾大など

○部活動（運動部25、文化部8）

- ・全校生徒の90%以上が部活動に加入するなど、全校をあげて部活動に取り組む
- ・運動部では昨年の福井しあわせ元気国体で、剣道部の女子が優勝（全員敦賀高生）、男子は3位入賞（敦賀高生3人）。陸上部は毎年インターハイに出場、リオデジャネイロオリンピック1600mリレーメンバーの北川選手は本校出身
- ・文化部では、吹奏楽、合唱、書道などの8の文化部と放送、出版の2委員会が積極的に活動。6月に敦高文化展を開催し、成果を市民にも公開





美方高等学校	普通科	98人(3クラス)	生活情報科	30人(1クラス)
			食物科	30人(1クラス)

○特色ある取組み

- ・平成17年度から連携型中高一貫教育を実施。
- ・高校教員が週1回、中学校の中高連携クラスで英語などの授業を実施。中高連携クラスの中学生と高校生との交流授業や高校の中高連携クラスが県立大や京都大との連携事業を実施
- ・食物科は、県内、県立高校で唯一の厚生労働大臣の指定を受けた調理師養成施設として、調理のプロを養成。校内弁当販売や地域のイベントに参加
- ・生活情報科は、ファッション分野と情報分野について学び、被服・ワープロ・情報処理・簿記・秘書検定などの資格取得を目指す
- ・生活情報科の2年生がデザインしたドレスを桂由美ブライダルショーで披露

○学校行事（学校祭、修学旅行、遠足、球技大会等各校共通するものは省略）

- ・1年次にディベート大会を実施（テーマは社会が直面する課題）
- ・全校生徒参加の、久々子湖で行われる「校内レガッタ」（ボート大会）

○進路状況（平成31年3月卒業生）※大学については合格実績

神戸大1人、信州大1人、金沢大1人、福井大1人、福井県立大1人など国公立大学16人。慶應義塾大1人、同志社大1人、立命館大1人など私立大学50人。短期大学および専修学校など46人、就職33人（うち公務員3人）。

過去（3年）には、名古屋大、お茶の水女子大、早稲田大、明治大、法政大、関西大など

公務員（教員含む）や看護師希望の比率が高く、地元に戻ってくる生徒が多い

○部活動（運動部10、文化部10、同好会1）

- ・全校生徒の93%が部活動に加入
- ・運動部では、ボート部（選抜、インターハイ、国体2年連続3冠他）、駅伝部、剣道部が全国大会出場
- ・文化部は、総合文化展を地元開催し、地域住民を招待、美術部、新聞部、吹奏楽部、かるた同好会が全国大会出場

